

泊村老人ホームむつみ荘広報

アシルとまり

アシルとはアイヌ語で新しいという意味です。

〒045-0202
古宇郡泊村大字茅沼村711番地3
社会福祉法人 黒松内つくし園
泊村老人ホーム むつみ荘
TEL (0135) 65-2255

発行責任者 施設長 高橋 英俊
編集発行 むつみ荘広報委員会

夜間想定避難訓練

3月29日、夜間に1階
厨房内で火災が起きた
との想定で避難訓練を
実施しました。今回も

向かうという
流れでの実施
となりました。

訓練では、避難者役の職員を、応援職員が非常階段を使い二人一組でおんぶでの避難や、毛布を使用して職員二名で避難する訓練も行われました。夜勤職員しかいない夜の災害は迅速な避難準備と、落ち着いて救助を待つことが重要になります。有事の際には、的確な行動ができるよう訓練を重ねて備えていきたいと思ひます。



コロナウイルス感染症対策のため、残念ながら泊消防職員の立ち合いはありませんでした。むつみ荘職員と夜間の警備員での訓練となりました。火災発生から初期消火や職員への連絡の確認や、緊急連絡を受けた応援職員が自宅から駆け付け、各ユニットへ避難誘導に



春の山菜を探して

4月14日養護の利用者5名でシロ採りに出かけました。施設前の傾斜を眺め「段々伸びて来てそろそろ食べごろでないかい？」と何日も前から楽しみにされていました。空の袋もあつという間に袋いっぱい採る事ができました。久しぶりに外出した方は、気分転換や良い運動にもなり春の風を肌で感じる事ができました。施設へ戻りごみ取りや水洗いは他の利用者へバトンタッチ！

「良い匂いしてるね」とどう食べるかを相談しながらゴミ取りをして頂きました。夕食ではリクエストの多かったしょう油味の卵とじ、次の日には酢味噌和えをして美味しく頂きました。これからの時期フキや竹の子も待ち遠しく「こしらえるから採って来てね」「私は食べる専門だから」等これからの山菜も楽しみにしています。



強く!逞しく!勇ましく!

端午の節句に合わせて今年も五月人形を飾りました。売店に買
い物に来た際に立ち寄りたり、受診
前後の待ち時間に人形を眺め、「今
年も立派な兜飾りだ」「五月人形は子供がたくましく育つように飾るんだよ。うちの息子にもいつも飾ってあげたんだ」と昔を懐かしんでいました。1階ロビーは端午の節句らしい勇ましい雰囲気となっており、病気や災厄は逃げていきそうです。



職員募集!!

～老人ホームと一緒に働きませんか?～

むつみ荘では、機能訓練指導員・看護師を募集しております。
施設の仕事に興味のある方、一緒に働いてくれる方をお待ちしております。
ご応募お待ちしております。

●勤務時間●

- ・シフト制（パート勤務可）

●資格●

【機能訓練指導員（特養）】

- ・作業療法士、理学療法士、言語聴覚士 等

【看護師（特養）】

- ・正看護師 ・准看護師



<連絡先>

0135-65-2255（担当：高橋）

面会等について

当施設では、緊急時を除く入居者様への面会並びに外出・外泊を禁止とさせていただきます。御家族の皆様には何かと御心配並びに御心労をおかけ

しておりますが、「警戒ステージ1」になるまでは対面での面会は行わない事としております。尚、LINE面会については、通常通り予約の受付をしております。ご不便をおかけいたしますがご理解ご協力を宜しくお願い致します。

感染症拡大防止にご協力ください



お知らせ

=== 異動 ===

【特養】

- ユニットケア慶和園へ
- ・係長介護員 宇治 伸耶
- ・介護員 勝部 広志
- 俱知安地区より
- ・副施設長 野崎 幸男

=== 採用 ===

【特養】

- ・介護員 高村 沙織
- （なごやかユニット）

【養護】

- ・用務員 宮下 欽哉

入居状況

むつみ荘では、入居等に関するご相談を随時受け付けております。入居に関するご質問・ご相談は、養護・特養共に【生活相談員】までお気軽にお問い合わせください。

【養護】

市町村	入居	短期
泊村	23名	6名
共和町	5名	
余市町	1名	
札幌市	1名	
	30名	6名

入居定員数30名、短期10名



【特養】

市町村	入居	ショート
泊村	25名	3名
岩内町	12名	
神恵内村	2名	
共和町	8名	
寿都町	1名	
余市町	1名	
札幌市	1名	
	50名	3名

入居定員数60名

（ショートは空床利用）

施設長雑感

春の日差しが眩しく、桜が咲く季節となりました。今月の第1週はGWであり、期間中は故郷への帰省や、行楽地への観光など、日頃のストレス解消や心身のリフレッシュを図ることが出来る絶好の機会を得ることとなります。しかしながら、一方では、これら経済活動等が活性化したことにより、痛ましい事案の発生が後を絶たないことから、無理な行動は自戒する必要があること、さらには、ロシアによるウクライナ侵攻に伴い、世界的に原油や食材等の物価高が顕著となっており、今後の私たちの生活への影響が懸念されます。また、「新型コロナウイルス感染症」については、北海道庁が定める「警戒ステージ」は依然として「2」のままであり、最近では変異株（XE株）の蔓延が進行し、新規陽性者は連日2千人

を超える状態が継続していることから、本施設では引き続き、感染予防対策に万全を期すとともに、今後予定されている4回目のワクチン接種に向けた準備を進めることとしております。利用者様の暮らしぶりなど、ご家族並びに関係者の皆様には、何かと不安感やご不自由をおかけしますが、引き続きご理解とご協力方よろしくお願い申し上げます。

以上、何かとネガティブな話題の多い社会情勢の中ではありますが、今後とも、利用者様の尊厳と暮らしの継続を守るため、一人ひとりの状態に即した「丁寧なケア」の徹底に努めるとともに、本施設での生活を続けていくことができますよう職員一同邁進していく所存でございます。関係者の皆様におかれましては、引き続き、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



施設長
高橋 英俊